

第2回菊池市総合計画策定審議会 要約記録

日時:平成 26 年 2 月 25 日(火)

午前 10 時～

場所:菊池市役所 本庁 3 階大会議室

(次第)

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

議事① 第2次菊池市総合計画素案について

議事② (仮称)市民会議の開催について

議事③ その他

4 閉会

議事① 第2次総合計画素案について

①-1 総合計画の期間

結論および合意内容

- ・ 総合計画の期間は市長任期との整合性を図り8年間とする
- ・ 第2次総合計画の期間に関してのみ、以降の市長任期と調整するため7年間とする
- ・ 第2次総合計画は、前期基本計画で3年間、後期基本計画の4年間で構成する

主な発言や意見、アイデアなど

- ・ 期間は10年が標準だが、市長のマニフェストを踏まえる事例も増えている
- ・ 総合計画と市長のマニフェストに違いがあると、市長が動きづらくなるのではないか
- ・ 首長の任期に合わせる自治体もあり、熊本県も知事の任期に合わせている
第2次総合計画の7年という期間案は意気込みを感じる
- ・ 基本構想、基本計画、実施計画のどこにマニフェストを反映するのか整理が必要

①-2 人口推計、市民アンケート、第1次総合計画の評価から見る課題と対策

結論および合意内容

- ・ 市民アンケートやヒアリング、評価等については資料編として整理する

指摘された課題および今後の改善項目など

- ・ 市民アンケートは60歳以上、無職の人が多くを占めており、市の実情や民意を反映しているのか疑問である
- ・ 今後、若い人や女性などの少数意見を集約できないか
- ・ 第2次総合計画は7・8年でも、市としては30～50年、100年先も見すえた検討をするべきである
- ・ アンケートの質問内容で誘導されることがないか、今後、改善を検討してほしい

①-3 まちづくりの理念と市の将来像、第2次総合計画の6つの政策案

結論および合意内容

- ・ まちづくりの理念や目標、政策の文言は(仮称)市民会議等を経て修正していくこととする

指摘された課題および今後の改善項目など

- ・ 理念や目標、6つの政策の文言はキレイに整理されているが、他の自治体にも使える印象を受ける
- ・ まちづくりの理念は、合併前の合併協議で作られた文言で、市民としても馴染みが深い
- ・ アンケートやヒアリング等で分析されている項目が、どの政策に含まれるのか、わかり易く整理できないか
- ・ 菊池らしい言葉、自然・人・伝統・文化、などの文言も取り入れる検討をしてほしい

議事② (仮称)市民会議の開催について

結論および合意内容

- ・ (仮称)市民会議はワークショップ方式とする。
- ・ 普段会議に来ない市民(女性や若い人など)が参加しやすい日程に考慮する
- ・ ワークショップが建設的な議論の場となるよう、対象地・対象者、ワークショップ内容などの事前周知を行う
- ・ ワークショップは各中学校区で行う、日程や開催場所は広報等で周知するが、審議会委員からも参加者の呼びかけを行う

主な発言や意見、アイデアなど

- ・ 市民は具体的なことを話す傾向がある、何を議論するかを事前に周知すべき
- ・ 会議が市の原案に誘導されないか懸念する市民もいる、協議の結果、意見の反映の過程をしっかりと情報共有してほしい
- ・ ワークショップの良い事例を研究し、進め方を周知しておくといい
- ・ 女性、子ども、若い人など会議に集まりにくい人の声を集約できるようにしてほしい

議事③ その他

- ・ アンケート回答数で60歳以上が多い。30～40代の声が少ないことに危惧している
- ・ 現在、先行して地域福祉計画が策定中であり、総合計画での福祉分野に大きく影響してくる部分であるため、策定後は委員にお示しする

以上